

広報

# いちき串木野

希望咲き誇る、それぞれの門出

R8. 4. 20 発行

4

vol. 246

特集

- ① ありがとう 私たちの中学校～生冠中・羽島中・串木野西中閉校～
- ② 子育てにもっと安心とわくわくを。令和8年度市の主要施策

LINE

いちき串木野市公式LINE

イベント情報など配信中！ぜひご登録ください



# ありがとう 私たちの中学校

～生冠中学校・羽島中学校・串木野西中学校閉校～

3月8日に生冠中学校と羽島中学校、22日に串木野西中学校がそれぞれの歩みに幕を下ろし、閉校式が執り行われました。

在校生や卒業生、地域の方々が参列した式では、これまでの長年の思い出に涙を流す姿や、仲間とともに笑い合う様子などが見られ、それぞれが思い思いに別れの時間を過ごしていました。

地域に根ざし、世代を超えて愛されてきた3つの中学校は、生徒や教職員はもちろん、地域にとってもかけがえのない存在です。今回はそれぞれの学校が紡いできた歴史を閉校式の思い出とともにお届けします。

こうした思いを胸に、4月からは新串木野中学校で、生徒たちが仲間とともに新しい一歩を踏み出し、また新たな思い出を紡いでいきます。

## 各校の歴史&閉校式の思い出 Photo

### 昭和22年開校 生冠中学校



昭和22年、串木野町立第三中学校として創立し、昭和24年に生福と冠岳の地名に由来して「生冠中学校」と改称されました。昭和28年には校歌、昭和35年には校章・校旗も制定され、学校の象徴として長く受け継がれてきました。

部活動も盛んで、バレーボールや陸上競技などは県大会や九州大会、全国大会に出場する活躍も見られました。近年はICT環境の整備や地域と連携した学びにも取り組み、時代に応じた教育を通して、生徒の健やかな成長を育んできました。



## 昭和 22 年開校 羽島中学校

昭和 22 年に串木野町立第二中学校として創立された羽島中学校。昭和 40 年の台風 15 号による被害や昭和 41 年の羽島大火（火災）といった困難にも直面しながら、それら乗り越え、学校の歴史を積み重ねてきました。

部活動では相撲競技で全国大会 3 位といった輝かしい実績を残しています。平成以降は ICT 教育を積極的に推進し、Google 事例校として認定されるなど先進的な取り組みを展開。地域とのつながりを大切にしながら、生徒の成長を支え続けてきました。



## 昭和 45 年開校 串木野西中学校

昭和 45 年、串木野中学校の一部を分離し、旭中学校と荒川中学校を統合して串木野西中学校が開校しました。

部活動では女子バレーボールや陸上、女子駅伝、柔道、剣道が、団体・個人で全国大会へ出場するなど活躍をみせました。また、生徒会活動も盛んで、先手あいさつから始まり、3S (Stop, Smile, Sente) あいさつへと発展し、学校から地域へとあいさつの輪を広めるなど、長年にわたり地域とともに歩み、多くの卒業生を送り出してきました。



# 子育てに、もっと安心とわくわくを。

市ではこれまで「子どもや若者が主役のまちづくり」を全力で進めてきました。その取組みは今、子どもの元気な声や新しい仲間の増加という、うれしい変化として芽吹き始めています。

令和8年度は、この流れをさらに力強く、確かなものにするため、子育て世代の安心を支える取組みを粘り強く継続します。同時に、次世代が夢を描ける「まちの魅力」へ重点的に投資し、誰もがワクワクする未来を形にしていきます。

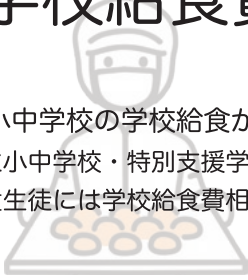
みんながこのまちを誇りに思い、ずっと住み続けたいくなる。そんな、いちき串木野市を一緒に創っていきましょう。

## 3つの無償化を継続

①

### 学校給食費

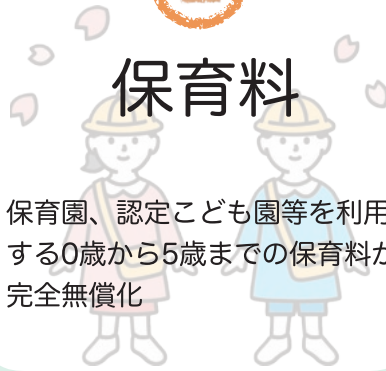
市立小中学校の学校給食が無償  
(私立小中学校・特別支援学校へ通う児童生徒には学校給食費相当額を助成)



②

### 保育料

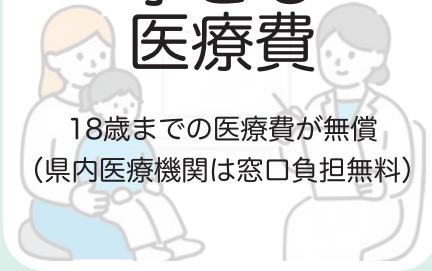
保育園、認定こども園等を利用する0歳から5歳までの保育料が完全無償化



③

### 子ども医療費

18歳までの医療費が無償  
(県内医療機関は窓口負担無料)



さらに

生まれるその日も、未来の毎日も、安心できるサポートが充実！

New

### こども誰でも通園制度

保護者の方のお仕事の有無にかかわらず、保育園などを利用できます。



New

### 出産応援119

事前登録により、緊急を要する場合に、かかりつけ医等の指示のもと救急車で搬送します。



New

### 出産応援ぶらす

不妊治療・妊婦健診（周産期母子医療センターのみ）・分娩に関する施設までの交通費を支援します。



詳しくは、6・7ページをご覧ください

# 長崎鼻公園が **新しく** 生まれ変わります！

幅広い世代の方が安心して楽しめる、にぎわいのある交流の場としてリニューアルします。

- ①子育てゾーン……雨天でも利用できる屋内遊戯室とカフェを併設！
- ②わんぱくゾーン…クラウドネットなど大型遊具を設置！
- ③ちびっこゾーン…インクルーシブ遊具(誰でも一緒に遊べる遊具)を設置！
- ④多目的ゾーン……芝生広場と園路を設置！  
(10月オープン予定)

都市建設課 ☎21-5153



## 安心安全なまちづくり

街路灯の設置や安全灯施設補助金を拡充し、生活環境の安全確保に取り組みます。

## 教育環境の充実

小中学校の特別教室への空調整備に取り組み、より安全で快適な学習環境の整備を進めます。

**Renew**

## 薩摩スチューデント 奨学プログラム事業

奨学金を借りた方で、大学等卒業後市内に住み、働く方を対象に、奨学金返済の支援をします。

教育総務課 ☎21-5126

ぼくのことも  
よろしくね！

ヨロシ〜ク



市公式キャラクター  
いちくっしー

## 洋上風力発電事業の推進

洋上風力発電の実現に向けて、調査・検討を進めていきます。

### ●今の状況は？

国から「準備区域」に整理され、現在は次のステップである「有望区域」への指定を目指している段階です。海域利用者などの方々と、発電事業の事業化に向けた調整を重ねています。

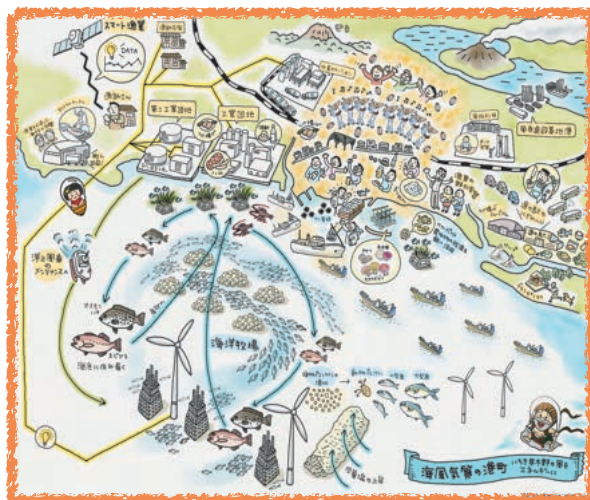
### ●これからの取り組み

令和8年度も、市民の皆様への情報発信や先進地の視察を行い、理解を深める活動を続けます。

### ●まちはどう変わる？

発電だけでなく、メンテナンスなどの拠点となる「基地港湾」の整備も検討します。新しい産業を呼び込み、まちに活力を作ることを目指します。

産業立地課 ☎33-5650





# 安心して子どもを育てられるまちへ

## ～妊娠・出産・子育て等の支援事業～

仕事の間、子どもを預けたい

子どもみらい課 保育係 ☎ 33-5635

### 保育施設の利用

保育園・認定こども園（保育部分）等の利用を開始したい方は、事前に申請が必要です。全年齢の児童の保育料は無償です。また、延長保育事業や一時預かり事業もあります。

子どもを見てもらいたい。見てあげたい

ファミリー・サポート・センター ☎ 24-5151

### 拡 ファミリー・サポート・センター

子どもの預かり、送迎など、育児の援助を受けたい方（依頼会員）が援助をしたい方（提供会員）へ依頼して、地域の中で助け合いながら子育てをする活動を実施しています。利用するためには講習会の受講が必要です。仲介はアドバイザーが行います。また、利用料金は次のとおりのほか、提供会員へは市の上乗せ補助があります。

利用料金：月曜日～金曜日の7：00～19：00 30分ごとに300円（提供会員へ市補助250円）  
平日の上記以外の時間、土日祝日・年末年始 30分ごとに350円（提供会員へ市補助300円）

### 新 乳児等通園支援事業（子ども誰でも通園制度）

子どもみらい課 保育係 ☎ 33-5635

保護者の就労の有無にかかわらず、保育園などを利用できる制度が始まります。

- 対象 市内に住む生後6ヶ月～満3歳未満の未就園児
  - 利用時間 月最大10時間（利用は1時間単位）
  - 利用料 1時間300円  
（その他、おやつ代などが必要となる場合があります）  
※世帯状況により利用料の減免制度があります。
  - 実施施設 社会福祉法人 羽島福祉会 羽島保育園 ☎ 35-0045
- ※利用方法は右の二次元コード（つうえんポータル）からご確認ください。



妊娠・出産・子育てへの支援

子どもみらい課 子育て健康係（健康増進センター内）☎ 24-8310

### 不妊治療費等助成事業

不妊治療等に要した治療や検査費用の一部（県先進医療不妊治療費助成事業、その他高額療養費・付加給付を控除した額の2分の1）を助成します。

助成対象	1年度上限	期間
人工受精、タイミング療法、排卵誘発法、不育症、男性不妊治療	10万円	2年間
体外受精、顕微授精、精子を精巣又は精巣上体から採取するための手術	30万円	5年間

### 妊婦のための支援給付金事業

妊婦さんの産前産後期間の妊娠による心身及び経済的負担軽減を目的に「妊婦のための支援給付金」を支給します。

対象となる妊婦さんに、妊娠届出時等に、保健師や助産師との面談を通じて申請の方法をご案内します。

- ・妊娠の認定後5万円
- ・妊娠している子どもの人数に応じて5万円

### 拡 5歳児健康診査

5歳児を対象に成長発達や生活リズム、食習慣、運動習慣を確認し、内科医、歯科医による診察を行います。また、発達や育児に関する個別相談やフッ化物塗布（希望者）も実施します。

健康診査の1ヶ月前までに母子保健推進員がご自宅に受診票をお届けします。

### 新 妊婦情報事前登録制度（出産応援119）

妊婦が安心して出産を迎えることができるよう、事前に出産に係る情報を登録することで、緊急時にかかりつけ医師等の指示のもと、救急車で医療機関に適切に搬送するための制度です。

- 利用条件
  - ・激しい腹痛、大量の出血、異常分娩など緊急を要する場合
  - ・腹痛等の体調変化が起きた際、家族が不在のため自力で医療機関に行くことができない場合



## 産後ケア事業

医療機関や助産施設等で、産後1年未満の母子に対して、育児相談や適切な授乳ケア・心身のケアを実施します。予約や申請の方法についてはお問い合わせください。

- ・宿泊型 ……施設に宿泊してサービスを受けられます。
- ・日帰り型 ……施設に通って日帰りでサービスを受けられます。
- ・訪問型 ……自宅に助産師が訪問して育児手技や授乳方法等のサービスを実施します。

## 新 妊婦のための出産応援ぷらす事業

子どもを望む夫婦や妊婦が安心・安全に妊娠を継続して出産に臨み、母子ともに産後も健やかに過ごせるよう、不妊治療・妊婦健診・分娩に関する施設までの交通費を支援します。

【助成対象】

- ①医学上の理由で、周産期母子医療センターで妊婦健診及び分娩する必要がある妊婦が移動に要した交通費
  - ②①以外の妊婦で分娩時の移動に要した交通費
  - ③概ね60分の移動時間を要する施設での不妊治療（生殖補助医療）に係る交通費
- ※回数や条件など詳細についてはお問い合わせください。

## その他

### 拡 保育士等就業支援事業

子どもみらい課 保育係 ☎ 33-5635

保育士等を確保することにより、保育の質の向上を図るとともに、多様化する保育ニーズへ対応するため、市内の私立認可保育所、認定こども園に保育士等として新たに就職した方及び継続勤務している方に対して補助を行います。

区分	常勤保育士	非常勤保育士
新たに就職した場合	20万円	10万円
市外から転入した場合（転入者加算）	10万円	10万円
1年を経過し、引き続き1年以上勤務する場合	10万円	5万円
3・5・7年継続勤務者	10万円	5万円
10・15・20・25・30年継続勤務者	5万円	2万5千円



### 子ども医療費給付事業

子どもみらい課 子育て支援係 ☎ 33-5618

本市子ども医療費は、満18歳に達する日以後の最初の3月31日までの子どもを対象に、県内医療機関等においては窓口無償化となっています。

また、これまで子ども医療費の対象外であったひとり親家庭等医療費及び重度心身障害者医療費の対象であった方も、子ども医療費の対象となります。なお、複数の助成資格がある場合、いずれか1つの受給資格証を選択し、適用します。

（例）子どもが障害手帳を所持する場合、「子ども医療」か「重度心身障害者医療」のどちらかを選択

### 子どもの居場所づくり推進事業

子どもみらい課 子育て支援係 ☎ 33-5618

子どもを取り巻く環境が多様化する中、子どもを対象に、放課後等に気軽に立ち寄り、安心して過ごせる場の提供や食事の提供を行う団体等に対して補助を行います。

#### (1) 新規開設事業及び機能強化事業

補助金額：1か所につき30万円（上限）

- ①子どもの居場所を新たに開設する場合
- ②既存の子どもの居場所において、食事の提供、学習支援、レクリエーション等の機能を強化する場合



#### (2) 子どもの居場所づくり応援事業

食事の提供、学習支援及びレクリエーション等に必要経費を補助（補助金額は下の表のとおり）。

1月あたりの開催数	補助金額（上限）
1回	1万円
2回	1万5千円
3回	3万円
4回以上	4万円

### イクボス企業応援助成金

イクボス宣言を行っている市内事業者に、男性従業員の育児休業の取得期間の実績に応じて助成を行います。

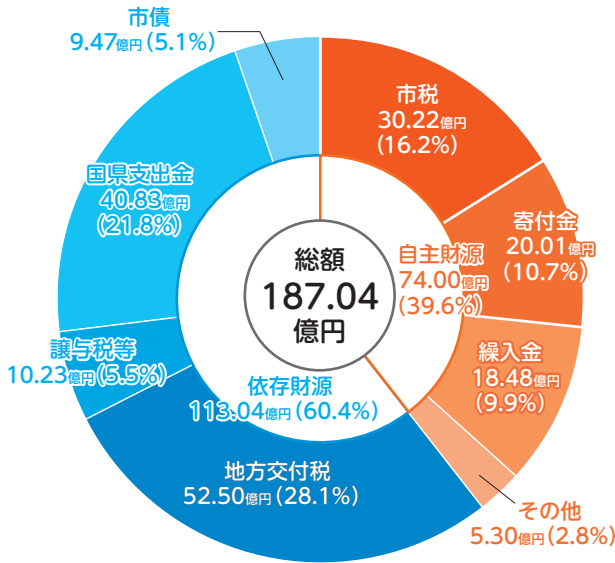
育児休業取得期間	助成金額
5日以上1月末満	10万円
1月以上3月末満	15万円
3月以上6月末満	20万円
6月以上	25万円

# 令和8年度 いちき串木野市の予算額

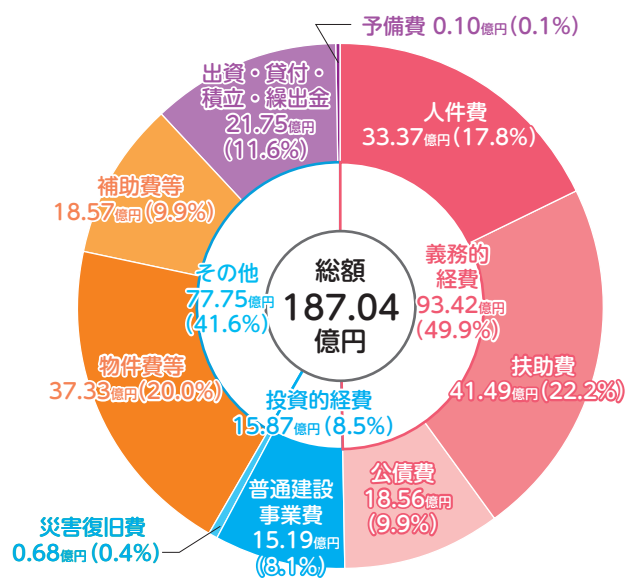
一般会計とは、福祉、医療、教育、土木など基本的な行政サービスを提供するための会計です。令和8年度の一般会計当初予算額は、187億400万円で前年比1億7,900万円(0.9%)の減額となりました。人口減少対策として3つの無償化や定住促進補助金などに総額約3億6,700万円を計上したほか、長崎鼻公園整備事業に約3億4,600万円を計上しています。

**一般会計 187億400万円** 前年度比 **1億7,900万円(0.9%) 減 ↓**

## ■歳入



## ■性質別歳出 (経費の経済的性質に着目)



その他 2.62億  
商工費 4.38億  
農林水産業費 5.24億  
消防費 5.96億

## ■目的別歳出 (経費の行政目的に着目)

民生費	総務費	衛生費	公債費	教育費	土木費
53.52億	41.75億	24.88億	18.56億	14.52億	15.61億

**特別会計 77億9,646万円** 前年度比 **8,058万円(1.0%) 増 ↑**

特定の事業について、収支を明確にするために一般会計から独立させた会計です。

特別会計一覧	令和8年度当初予算	令和7年度当初予算	対前年比	
			増減額	増減率
国民健康保険特別会計	33億4,634万円	34億6,971万円	△1億2,337万円	△3.6%
介護保険特別会計	37億4,638万円	36億5,780万円	8,858万円	2.4%
後期高齢者医療特別会計	7億374万円	5億8,837万円	1億1,537万円	19.6%

**企業会計 22億2,252万円** 前年度比 **1億543万円(4.5%) 減 ↓**

利用者の皆さんの支払う料金収入で事業を行う地方公営企業の会計です。

企業会計一覧	令和8年度当初予算	令和7年度当初予算	対前年比	
			増減額	増減率
水道事業会計	12億5,034万円	12億3,039万円	1,996万円	1.6%
下水道事業会計	9億7,218万円	10億9,756万円	△1億2,538万円	△11.4%

※各項目で単位未満を四捨五入しているため、合計額や割合が一致しない場合があります。

# 市立 図書館前 リニューアル!!



市制施行20周年記念事業として、若手職員と市民の方が協働で実施した「図書館前ひろば改装プロジェクト」が3月中旬ついに完成しました。その名も「マイペース」。

これまで文化財の展示をしていたため、照明や自然光を抑えた薄暗い空間となっていたスペースが、より明るく自分のペースで学習や作業に没頭しやすい環境へと生まれ変わりました。

今後は図書館のお話し会や各種ワークショップなどにも利用される予定です。ぜひお気軽にお立ち寄りください。



## リニューアル後の利用者の声 高校1年生 池田さん・村田さん



「休日は3～4時間ほど利用しています。1人で来ても集中して使えるし、みんなで集まって勉強を教え合うこともできるところがいいなと思います」

●施設情報 市民文化センター図書館前広場 ☎33-5655 (市民文化センター)  
※休館日はP.23「本ひより」に掲載の開館情報をご確認ください。

(広告)

**太陽光余剰電力買取サービス**  
屋根の太陽光を  
いくらで 売電 していますか？

10年間の固定買取期間が終了したら…

いちき串木野電力 が  
太陽光の余剰電力を9円で買取ります！

株式会社いちき串木野電力 0996-33-6000




**卒入学おめでとう**  
この広告持参のお客様に限定!  
卒園・卒業の今だけ! **11,000円**  
(通常21,600円相当)

撮影された方に入学写真又は  
家族写真を**1ポーズプレゼント!!**

ユニフォーム  
撮影先OKです

詳しい情報は  
こちらから

鹿児島県知事賞受賞店  
**川元写真館**  
0996-32-4328




土地 アパート 戸建

**不動産** の売買・仲介を  
お手伝いします

相談 丁寧な 秘密  
無料 対応 厳守

ひよくのとり不動産 ☎0996-48-2369

携帯: 080-4271-8234 鹿児島県いちき串木野市西島平町1番地  
hiyokunotori-estate@outlook.com 営業時間: 9:00~18:00  
定休日: 水曜日・日曜日、他

ご自宅で、動物たちと飼い主さんに寄り添った治療を

**かやま往診専門動物病院**  
院長 加山 朋欣  
TEL:090-5981-1387

診療時間: 午前8時~午後8時  
鹿児島県いちき串木野市羽島  
<https://kayama-oushin.com/>






# 100年フードに「つけ揚げ」が認定されました！

## 中屋市長×串木野蒲鉾組合 勘場組合長 特別対談



今年2月、100年フード・食文化ミュージアムサミットにおいて、本市の「つけ揚げ」が100年フードに認定されました。認定を記念し行われた、中屋市長と串木野蒲鉾組合の勘場組合長による対談の様子をお届けします。



### 100年フードとは…

文化庁において、豊かな自然風土や歴史に根差した多様な食文化の継承・振興への機運を醸成するため、地域で世代を超えて受け継がれてきた食文化を、100年続く食文化「100年フード」と名付け、地方自治体、団体等とともに継承していくことを目指す取り組みです。



※詳細は右の二次元コードから

### —100年フードにつけ揚げが認定されたことに関して

**中屋市長（以下：市長）：**串木野のつけ揚げは県内でもトップブランドだという自負があります。実際にイベントでも、「串木野のつけ揚げ」を求める方が多いです。そのつけ揚げが文化庁から評価されたというのは大変喜ばしいことです。



**勘場組合長（以下：組合長）：**まずはつけ揚げを地域ブランドとして確立してくれた先人への感謝が一番に浮かびました。自分たちにとっては当たり前だったものに、こうして光を当てていただき、改めて価値に気づかされた気がします。

### —串木野のつけ揚げの特徴と魅力

**市長：**豆腐が入っているからふわっとしていて、さらに地酒の甘みもあって食べやすいですね。ご飯のおかずや、おやつとしてもいけるかなと。あとは、芋焼酎との相性もいい！“甘いものに辛いもので、うまくできているなと思います。

**組合長：**魚のすり身だけで作ったつけ揚げが多いなか、豆腐を入れるという県内でも独特の製法が一番の特徴ですね。あとは甘さを特徴としているのも本市のつけ揚げならではのです。ただ時代によって甘さは少しずつ変化してきて、50年前のつけ揚げは今よりもさらに甘かったそうです。昔は“甘いもの=ごちそう・おもてなし”とされ、貴重で元気が出るものということで甘い味付けになっていましたが、今は健康志向もあって控えめになりましたね。ただ、それでも甘いと言われますが…（笑）



### —生産現場の現状と課題

**組合長：**人口減少に伴って消費は低迷し、原料や光熱費の高騰もあり、生産量は徐々に減ってきているという状況です。値上げをしたい気持ちもありますが、皆さんが手にとりやすい価格でありたいので、すぐには難しいところですね。また、昔は地元産の魚で作るのが当たり前でしたが、今はなかなか魚が獲れない状況もあります。

### —今後の展望と新たな可能性

**市長：**これまで築いてきたブランドに加えて、これからは“100年フード”という後押しもありますので、どう生かしていくか、一緒に知恵を出し合いたいと思います。元々家庭料理であり、保存食でもあったと聞きますが、そうした先人の知恵が今につながっているのだと思います。その価値を大切にしながら、新しい時代のつけ揚げを作っていきたいですね。

**組合長：**今回の認定をきっかけに、市民の皆さんに改めてつけ揚げに注目していただくことで、いろいろなご意見をいただけるという期待があります。若い世代に親しんでもらえるよう、各社が試行錯誤しながら新商品の開発にも取り組んでいます。今後もその動きが活発化していけばいいなと思います。



「食」を通じて、いろんなことを楽しむ、いろんなことをやってみる。人がいきいきと輝き、まちが元気になる。それが「いちき串木野市 食のまちづくり宣言」です。

本市では、食の魅力発信や食に関するプロジェクト等に積極的にかかわり、市と一緒に「食によるまちづくり」を推進していく仲間として、2022年度から個人や団体を『食のまちPRパートナー』として登録しています。

食のまちづくりについて詳しくは、右の二次元コードからご確認ください。



## お菓子を通して、課題を可能性へ。地域の未来をつなぐ小さな積み重ねを ～ 食のまちPRパートナー お菓子の菊屋 4代目 宮内淳次さん ～

Text & photo Yasutoshi Kami

今回は「お菓子の菊屋」4代目・宮内淳次さんにお話を伺いました。



### 小さな積み重ねから、時代に合った地域に愛されるお店へ

宮内さんは高校卒業後、鹿児島を離れ、福岡の専門学校へ進学。転職となったのはお祖母様の体調が悪くなったことでした。家族のことを考える中で「実家のために自分にできることはないか？」と思うようになり、お菓子づくりを学ぶことを決意します。福岡や熊本で修業を重ねた後、約15年前に菊屋に加わりました。

「家業に入ってから最初に取り組んだのは、時代に合った商品構成の見直しと商品づくりでした。焼き菓子は充実していた一方で、生菓子はそれほど多くありませんでした。そこでケーキの形や見せ方を少しずつ変えていきました。新しいものを取り入れるとって

も、流行をそのまま取り入れるのではなく、お客様の要望に寄り添うスタイルを大切にしていきました。お客様の反応を見ながら少しずつ変えていく。そうした小さな積み重ねが、今のお店づくりにつながっています」

### お菓子づくりを通して、課題を可能性へ

菊屋のお菓子の特徴の一つは、地域の食材を活かした商品が多いこと。中でも宮内さんが力を入れているのが、本市の特産品であるサワーポメロを使ったお菓子です。



「農家さんと話す中で聞こえてくる悩みや課題に対して、お菓子を通して何かできることはないかと考えるようになりました。それが3代目の父が大事にしてきた地域と関わるお菓子づくりにも自然とつながってきていると思っています。サワーポメロは果肉だけでなく、皮の部分まで活用できる果実

だということもわかってきました。そうした特徴を活かすことで、新しい商品づくりの可能性も広がってきています」

### 地域の未来をつくる、つながりのカタチ

宮内さんが最近特に意識しているのが、子どもたちとの関わりです。人口減少が進む中で、地域の未来を考えると、子どもたちに地元の魅力を伝えていくことが大切だと感じているといいます。

「小さい頃に地域を好きになる経験があると、将来戻ってくる人も多くとよく耳にします。そこで数年前から教育機関や行政などと連携した取り組みも進めています。地域の事業者と関わりながら、食や地域の魅力を感じてもらえる機会をこれからもっと増やしていこうと考えています。菊屋は今年、創業100周年を迎えます。これからも変わらず、日頃の感謝をお客様に還元できるような取り組みを続けていきたいです」

これまでのおいしい情報、コラムの続きは右の二次元コードからご覧ください。



公式note